



明日を生きる人々にいのちの叫びを伝えたい

どうしてジヤンケン

できないの？

大阪空襲ものがたり



作 佐伯 洋・松本喜久夫
 演出 林田時夫
 振付 長谷堂いく子
 音楽 豊田光雄・石若雅弥
 指揮 森川和男
 出演 劇団きづがわ他有志
 合唱 大阪空襲物語合唱団

イラスト / 小林英子・橋本節男・西尾直美

3月11日(金) 夜の部 PM6:30
 12日(土) 昼の部 PM2:00
 夜の部 PM6:00
 (開場は30分前)

会場 クレオ大阪西

JR環状線・阪神なんぼ線
 「西九条駅」下車 徒歩3分
 大阪市此花区西九条6-1-20
 Tel: 06-6460-7800

入場料 前売券

一般 2,500円
 70歳以上・中高大学生・障害者 1,500円
 (当日それぞれ500円UP)

企画・制作 / 大阪空襲ものがたり上演実行委員会 (実行委員長 井関和彦 (大阪空襲訴訟弁護団長)) <http://jiyanken-2010.upper.jp/>
 連絡先 問い合わせ / 大阪教育文化センター 06(6768)5773・劇団きづがわ 06(6551)3481

どうしてジャンケンできないの？〜大阪空襲ものがたり

明日を生きる人々に、いのちの叫びを伝えたい。

ものがたり

1945年3月13日。空襲によって大阪は焼け野原と化した。

14歳だった小宮勇吉は、空襲で手にも顔にも大やけどを負い、家も父の工場も失って、傷害を負った体で苦難の人生を歩むことになった。中学校も中退し、「やけど」とあざけられながら、食うために働いて小さな町工場を営み、妻の麻子とともに、ようやく暮らしが成り立つようになったが、空襲被害の傷跡は心に重くのしかかったままだった。

そんなある日、幼い孫に「おじいちゃん、どうしてジャンケンできないの？」と言われ、はっとして「この子と同じような目に遭わせたらあかん」と、少しずつ自分の体験を語るようになる。同じく空襲被害を受けた安積初子、大林満子、山原元子たちと出会い、国に対する謝罪と補償を求める運動に立ち

上がった。駅頭での署名運動に共感した高校教師を通じて、高校生たちとのふれあいも生まれた。

しかし、請願行動に上京した雄吉たちに対する国の対応は冷たく、ようやく受け取った署名も紛失する始末。怒りと落胆に、いったんはあきらめかけた雄吉だったが、訴訟を起こそうという新たな運動に勇気づけられ、病を押して、原告団結成総会にかけつける……

いっしょに死んでいたら

こんな辛さも悔しさも

なかったらうと思いつつ

いくさのわけもわからずに

涙かみしめ働いた

青春なんて知らないで

それでもわたしは生きて来た

劇中歌「あの日から」

今を生きる力に

実行委員会事務局長 中田 進

この演劇は、「戦争とは何か」「国の責任とは」をあらためて考えさせてくれます。原告のみなさんのいまも続く苦しい思いをうけとめ「重いテーマ」ではありますが、今を生きる「力」になることを信じています。

上演の成功が、裁判闘争の一つの支援になることを願ってやみません。

『大阪空襲ものがたり』の成功を！

劇団きづがわ 林田 時夫

堺市民ミュージカル『炎の街から』を取り組み「大阪空襲訴訟」の原告団の方ともお会いしました。そして、今なお空襲の被害に苦しみ、国の責任を問う「二度と再び戦争を起こすまい！」とする被災者たちの強い願いに心打たれ、今回の『どうしてジャンケンできないの？〜大阪空襲ものがたり』の上演を呼びかけさせていただきました。

あの15年戦争や、半世紀に及ぶ我が国の戦争の歴史と、どう向き合うか。戦後65年を経た今もなお問われている。そんな時代の風潮だけに、「大阪空襲訴訟」の前進と勝利のために一人でも多くの方々に観ていただきたいと願っています。



会場 クレオ大阪西

JR環状線・阪神なんば線「西九条駅」下車徒歩3分
大阪市此花区西九条 6-1-20 Tel: 06-6460-7800



出演

大阪空襲訴訟物語合唱団 劇団きづがわ
市民合唱団Peace Call・「炎の街から」合唱団
他合唱団及び市民有志

企画・制作

大阪空襲ものがたり上演実行委員会
連絡先 問い合わせ
大阪教育文化センター TEL06(6768)5773
FAX06(6768)2527
劇団きづがわ TEL&FAX 06(6551)3481